

令和4年度第2回美波町総合計画審議会 議事概要

日時：令和4年12月8日（木）19時00分～

場所：美波町役場2階会議室

出席者：

（美波町関係者）

岸本政策推進課長、福岡政策推進主査

（美波町委員14名）欠席2名

床桜委員（会長）、小原委員、片山委員、岡本委員、網干委員、浜口委員、豊崎委員、尾崎委員、奥村委員、酒井委員、川口委員、向山委員、春田委員

（山崎委員 ※ウェブ参加）※片山委員途中退席

（支援業者 ジャパン総研2名）

会議次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 第3次美波町総合計画の策定について
 - (2) その他
- 4 閉会

会議資料一覧

- ・美波町総合計画会議資料

会議経過

- 1 開会后、会長挨拶。
- 2 事務局より説明
- 4 床桜会長が会議を進めた。
- 5 議事（1）について、事務局が資料に基づき説明を行った。
- 6 閉会

主な質疑等、議事の概要は以下の通り。

◆議事（1） 第3次美波町総合計画の策定について資料に基づき、事務局から説明。

※床桜会長より、説明を補足した。

【委員】

前回会議の住民アンケートをじっくり見ていたら、買い物や交通の不便が出ていた。第3次計画においては、そういうところの改善に向けてしっかり謳ってもらいたい。特に、若者が定住するには仕事があるので、企業誘致ができる環境の整理や遊休地の利用などを行ってもらえたらと思う。

また、地震における津波対策もしっかりして頂きながら、ポートフォリオ分析でも出ている、重要度は高いけど満足度が低い部分に関しては、しっかり分析し取り組んでほしい。

そのほか、高齢化が進むのは避けられないので、高齢者が住みやすいまちを目指していただきたいと感じる。

【委員】

前回のアンケートを見ていて感じたこととして、第一産業の満足度の数が少ないなと感じた。第一次産業の満足度が増えてくるとにぎやかになると思うので、上向くように計画の中にしっかり入れてほしい。

→事務局)

ご指摘の通り、第一次産業の満足度が増えなかったのは課題です。

※床桜会長が議論を促した。

【委員】

高齢化が進み、若い方が出て行っている状況は続いているので、高齢者が頑張って進めるくらいの気持ちがない気がする。若者の力に頼るのではなく、高齢者でも前向きに活動していく必要があると感じる。

防災訓練に関しても災害の際は近隣住民で助けあっていかなければならないので、訓練の段階から高齢者の世代も含めしっかり意識して取り組むことが大事なと思う。

→床桜会長)

総合計画は今後10年の計画であり、南海トラフ大地震の発生確率も年々上がっているので、防災・減災対策についてはこれまでの2次計画以上に取組を記載いただくことと、また福祉の充実に関しても同じくしっかり記載頂ければと思います。

【委員】

高齢化は避けられないので、若い者がどうしたら残ってくれるか考えないといけない。例えば家を建てる際に周辺に道路がなく車が置けないとかで、住む場所を移していく人もいる。お金もかかることにはなるが、狭い地域でも、津波が来ても残る場所をしっかりと作って、若者が定住できるような施策考えていかないといけないと思う。

→床桜会長)

自分の教え子で美波町の子がいるが、話を聞くと美波町に帰りたいという話を聞いたことがある。その子によると美波町は防災訓練をよく行うイメージがあるらしいが、これは危険な土地であるというイメージを持つことにもつながると思うので、今後は美波町に住みたいという良いイメージをもたらすようなふるさと教育も行っていけないと思う。

【委員】

自分自身も田舎の出身だが、常に故郷とつながっているような形を取る必要があると思います。特に若い人を集めるのであれば、ICTの活用を活かしていく必要もあるし、また別の視点で安全・安心に関しては、安全な場所に住みたいと思うので、しっかり取り組んでいく必要があると感じる。

【委員】

〇〇委員の意見に同じで、居住の環境整備は絶対だと思っている。若者が安全して暮らせるようなまちとして確立しないと若者が増えていかないのではないかとと思う。

また住民の健康づくりでは私どもの方で日和佐の卓球会や地域スポーツクラブ等との連携をはじめとして取り組んでおるところです。

【委員】

婦人会では、車が3年後に廃止になるというニュースがあるので署名活動をしている。移動手段がないと学生が学校に行けなくなるので、余計に過疎化が進むことが危惧される。子どもの学校のある時間帯など、住民の移動手段をどうしていくかが今後の課題になっていくのではないかなと思う。

【委員】

資料に関して、まちの弱みに関して何点か挙げているが、正直もっとあると思う。もう少し深掘りして出してみてもそこを補う必要があるのではないかなと感じる。また、将来的なことを考えると人口が減ると商売もできなくなるので、住む人を増やすためにもう少しどうしたらいいか広く考えることが必要かなと思う。

【委員】

コミュニティ形成をしっかりとしていくことが必要かなと思う。例えばの話ですがコミュニティの強化が防災対策にもつながると思う。そのうえで、若い方へのアピールも必要なんじゃないか。

※床桜会長より、資料のSWOT分析の「強み×チャンス」のクロス分析の詳細説明をジャパン総研が行った。

【委員】

カレットに関しては、情報発信が足りない気がする。面白い所には人が集まるので、大人から子供まで楽しんで関わられるようになってくると自然と活気が生まれると思う。

【委員】

カレットに関しては、地元住民の中では実は少し辟易している方も少なからずいる。私としてもウミガメ博物館というよりも、砂浜も減少し、そもそも浜の魅力が低下している気がする。砂浜周辺の状況は長い時間を経て変化しており、天候により周辺の家屋に砂が飛ぶなどの様々な被害も出ていること等の積み重ねも住民の感情に関係しているのではないかなと思う。

実際カレットを訪れても30分程度の滞在なので、せっかくなら浜を見てもらい、いろいろなことを感じてほしいが、まず先に砂浜の再生と魅力の創出をしっかりと考える必要があるのではないかなと思う。

※床桜会長より、目指すまちの姿（将来像）に関して意見を求めた。

（第2次総合計画の枠をベースにする方向で全体異論なし）

【委員】

今後の進行に関して。パブリックコメントを行う際に、これまであまり行っても意見が出てこなかった。色々な意見を出してもらう為にもなんらかの手が打てればと感じる。

→床桜会長)

パブリックコメントを行う際に、そもそも計画資料の量が多いので見られない人も多いと思う。た概要版等を作成してより見やすくとっつきやすいものを作ることを事務局にはお願いできればと思います。

【その他】

次回、第3回審議会（内容としては基本構想・基本計画の審議）は年明けの予定。